【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【公開番号】特開2009-37021(P2009-37021A)
【公開日】平成21年2月19日(2009.2.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-007
【出願番号】特願2007-201556(P2007-201556)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　19/12　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　19/12

【手続補正書】
【提出日】平成22年8月2日(2010.8.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影光路内に侵入するミラーダウン位置と前記撮影光路から退避するミラーアップ位置との間を移動可能な第１ミラー部材と、
前記第１ミラー部材上に設けられた第１及び第２の揺動支点に軸部により軸支され前記第１及び第２の揺動支点を中心として前記第１ミラー部材に対して揺動可能な第２ミラー部材と、
前記第１及び第２の揺動支点の少なくとも一方の、前記軸部の延びる方向に交差する方向の位置を調整する調整機構と、
前記軸部を遮蔽する遮蔽部材と、
を備えることを特徴とするミラー装置。
【請求項２】
前記第１ミラー部材の少なくとも前記第１及び第２の揺動支点を樹脂材料で形成し、
前記第２ミラー部材は、前記第１及び第２の揺動支点に設けられた軸穴部に圧入固定された前記軸部により軸支されていることを特徴とする請求項１記載のミラー装置。
【請求項３】
前記遮蔽部材を前記第１ミラー部材の反射面とは反対側に配置したことを特徴とする請求項１または請求項２記載のミラー装置。
【請求項４】
前記遮蔽部材は、その表面に反射防止処理が施されていることを特徴とする請求項３記載のミラー装置。
【請求項５】
前記第１ミラー部材を支持する支持部材を更に備え、
前記支持部材は、前記第１ミラー部材の前記調整機構に対向する位置に、前記調整機構の調整を行う調整具が貫通するための穴を有することを特徴とする請求項１乃至請求項４の何れか一項に記載のミラー装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００７】
本発明のミラー装置ＲＭは、撮影光路内に侵入するミラーダウン位置と前記撮影光路から退避するミラーアップ位置との間を移動可能な第１ミラー部材（１８）と、前記第１ミラー部材上に設けられた第１及び第２の揺動支点（１８ｃ）に軸部（３０、３２）により軸支され前記第１及び第２の揺動支点を中心として前記第１ミラー部材に対して揺動可能な第２ミラー部材（１９）と、前記第１及び第２の揺動支点の少なくとも一方の、前記軸部の延びる方向に交差する方向（撮影光路Ｌ１に対するヨーイング方向）の位置を調整する調整機構（３０）と、前記軸部を遮蔽する遮蔽部材（４０）と、を備えることを特徴とする。